

道新世紀に

奥野代議士へのメッセージ

難民キャンプではどのような人々の暮らしがあり、どんな支援活動が続いているのか。実際に現地へ活動をしたAMD A緊急救援対策局長の小西司さんに現状を聞いた。

——難民キャンプはどんなところですか。

国連難民高等弁務官（UNHCR）が造成地を探してパキスタン政府とつづいたものです。12月から現在まで、パキスタンのクエッタ郊外にある2カ所のキャンプで活動しています。それぞれ約6万人と約7500人の難民が暮らしています。

AMD Aチームはパキスタン人医師5人を中心に約40人で、難民家族の健康と栄養状態のチェック、予防接種や診療、助産などをしています。

——生活に必要な物は配給されるのですか。

食品は小麦粉と砂糖、食用油、彼らが非常に好んで

飲むお茶の葉や香料など。小麦粉でナンとかチャパティといわれる食べ物を作って食べています。配給は炭水化物が中心で、近隣の農家が野菜を売りに来たりする。そこには小規模ながら経済活動があります。

無関心が招く紛争

日本の国際貢献／本質

「アフガニスタンに関心を持續けることが、平和につながる」と語る小西司さん（岡山市栢津で



3畳ほどのテントは戦時中の陸軍が使ったようなカンパス地のもの。毛布はひとり1、2枚で、小さなストーブと燃料の木炭はテント単位の配給です。日陰で1日地面が凍っているほど寒いときもあるので、寄り添って暮らしています。

配給慎重に

——難民の人と会話はありますか。

下手な英語でも話しかけてくる人と、黙ってうすく

まっているような人の2通りありますね。前者はだいたい文句をいう。小麦粉がまじりから何とかしてとか、木炭がよく燃えないとか、子どもを学校にやらせていこうとしたりとか、という相談もあります。

信頼に努力

——現場の活動で大変な思いをしたことは。

キャンプでは外国人の宿泊が禁じられ、スタッフは片道2時間半の道のりを通っています。キャンプは治安上危険だということですが、以前カラチで活動をし

料の薬をもらおうとする。飲み過ぎによる疾患の方が大変ですから、私たちの診療所では薬の配給は慎重にしています。

復興は遠く

——難民の帰還は進んでいますか。

北東や北西部では始まっています。南東部のカンダハルでは戦闘が最後まで続いてい

ここに・つかさ 63年京都府生まれ。87年に東京学芸大学教育学部を卒業後、青森海外協力隊の一員としてガーナで技術科ティン活動を務めた。ベトナムなどでのボランティア活動を経て、00年AMD A本部職員に。米国同時多発テロ後の昨年9月にニューヨークで被害状況を調査、同12月からパキスタンの難民キャンプ支援体勢を整えた。

たちの活動するキャンプにはまだ難民がやって来ます。アフガニスタン国内の破壊の状態がたいへんひどいのでしよう。この地域では復興の声は遠く、紛争や内戦などが起きる注目され、それが終わらなれ去られることを繰り返している国です。12月にはあれだけ報道されていたのに、2月には平和の祭典オリンピックに人々の関心が移っていた。怖いのは、国際的な関心はどんどん薄れ、難民が国に帰るころにはたれもアフガニスタンのことを語らないんじゃないかということ。そうならば、彼らの復興は一向に進まないと思います。

たとき、難民の人たちと信頼関係を取り損ね、テントに火を付けられたことがありました。そういうことが起こらないように、信頼関係づくりと時間とエネルギーをかけています。

復興は遠く

——難民の帰還は進んでいますか。

北東や北西部では始まっています。南東部のカンダハルでは戦闘が最後まで続いてい

縫合はできない。そんなときは救急車を借りて、どこへ道を通る病院まで運びます。砂漠の真ん中にある7万人の巨大な町に救急車は2台だけ、電話もないのですから。

復興は遠く

——難民の帰還は進んでいますか。

北東や北西部では始まっています。南東部のカンダハルでは戦闘が最後まで続いてい

——日本人に対する願いを一言。

復興は遠く

——難民の帰還は進んでいますか。

北東や北西部では始まっています。南東部のカンダハルでは戦闘が最後まで続いてい